

## ■ 連携の拠点の取組について

資料 2 - 1

	対象地域	東大阪市（西地区）
実施主体	連携の拠点	布施医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	布施医師会

### （１）令和 6 年度の取組実績

①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<p>①東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる地域包括支援センター多職種連携研修会全体会（2月22日） 三医師会合同災害対策会議（令和 6 年 6 月から 1 0 回開催）、布施医師会災害対策会議（令和 6 年 4 月から 8 回開催）、三医師会小児在宅・医療的ケア児対策会議 AYA世代の在宅医療を検討する会議、認知症高齢者の在宅医療を支えるための知識普及のための会議、布施医師会拠点事業情報連絡会議</p> <p>②東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる電話相談窓口、医療マップ（改訂）作成し9月上旬関係機関に配布、ホームページにて各医療機関情報更新 防災訓練を実施し、実際に想定した活動内容のシミュレーション（三医師会における連携の確認・情報の共有化、行政との連携確認） 小児在宅医療講習会の開催</p> <p>③レスパイト入院の迅速な活動内容の構築を検討</p> <p>④AYA世代のがん患者が直面する「暮らし・お金・仕事」に関する課題に対する対処方法などの情報発信としての研修会を実施</p> <p>⑤在宅医療における認知症高齢者とその抱える家族の課題をクローズアップして市民・関係者を対象に研修会を通して普及啓発を行った</p>				

### （２）令和6年度の取組みを通じた課題

昨年度は初年度という事もあり、身近な課題を抽出し、訓練実施や講演会開催を中心にした実施可能である計画を立てた。初年度に立案した計画に基づいて活動をする中で、積極的医療機関数を向上させることが必要であり、さらには、積極的医療機関の役割を担う上で、活動内容の質の底上げが必要であることを認識した。

### （３）令和 7 度の取組計画

①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<p>①東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる地域包括支援センター多職種連携研修会全体会（2月28日） 三医師会合同災害対策会議（令和 7 年 5 月から 1 0 回開催予定）、布施医師会災害対策会議（令和 7 年 4 月から 9 回開催予定） 「在宅医療・緩和ケア」の現場から「その人らしい生き方と最期」を見つめ直す研修会における企画内容の打ち合わせ会議 地域包括ケアに携わる医療従事者への研修会における企画内容の打ち合わせ会議</p> <p>②東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる電話相談窓口、ホームページにて医療マップの各医療機関情報更新 防災訓練を今年度も実施し、実際に想定した活動内容のシミュレーション（三医師会における連携の確認・情報の共有化、行政との連携確認） 小児在宅医療講習会の開催 映画監督の講演聴講などを通して人に寄り添うケアについて学ぶ研修会</p> <p>③レスパイト入院の迅速な活動への情報共有</p> <p>④「在宅医療・緩和ケア」の現場から「その人らしい生き方と最期」を見つめ直す研修会を実施予定（9月13日） 地域包括ケアに携わる医療従事者への研修会を実施予定（10月4日）</p>				

### （４）令和7年度の進捗状況

①拠点として大阪府が求める活動や役割についての情報提供・交流会（6月10日）  
三医師会合同災害対策会議にて、三医師会で活動状況を報告し、情報を共有化（880万人訓練に向けて安否確認を拡充する方法などの検討）  
布施医師会災害対策会議にて、880万人訓練を活用した布施医師会での安否確認訓練日程の決定（11月5日（水）実施予定）  
地域包括ケアに携わる医療従事者への研修会における企画内容の打ち合わせ会議（8月21日（木））  
「在宅医療・緩和ケア」の現場から「その人らしい生き方と最期」を見つめ直す研修会における企画内容の打ち合わせ会議（8月25日（月））

②防災訓練を今年度も実施予定（11月9日（日））  
三医師会における連携の確認・情報の共有化  
小児在宅医療講習会の開催において、講師も決定し周知方法においても検討を重ねている

③レスパイト入院の迅速な活動への情報共有

④「在宅医療・緩和ケア」の現場から「その人らしい生き方と最期」を見つめ直す研修会を実施（9月13日（土））  
地域包括ケアに携わる医療従事者への研修会において、講師や講演内容、会場設営方法などを確定し、充実した開催となるように協議を進めている。

## ■ 積極的医療機関の取組について (任意)

対象地域	東大阪市 (西地区)	
実施主体	連携の拠点	布施医師会
	市町村医介連携事業 (委託先)	布施医師会

## (1) 令和7年度の取組計画

## 他医療機関等への調整・支援等

- ・他の医療機関と連携し、積極的に患者の在宅生活を支援している。
- ・災害時のために、非常用電源の導入を検討。
- ・多職種と連携し在宅療養の継続支援。
- ・急変時の訪問診療の継続。
- ・退院カンファレンスの参加。
- ・非常用電源の確保。
- ・自家発電装置の貸出について整備。
- ・臨床研修医の同行研修受け入れ。
- ・多職種と連携しながら24時間対応体制の在宅医療を提供するだけでなく、他の医療機関を支援し、地域の在宅医療を支える4つの医療機能 (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り) の確保に寄与するべく努力している。
- ・令和6年度補助事業により非常用電源を整備し災害時に備えている。
- ・近隣病院と定期的に連携会議を開催している。
- ・患者急変時の救急病院との連携。
- ・タブレット型通信機器の一層の活用を企画。

## (2) 対応状況

## 積極的医療機関 7件における対応状況

- ①急変時の診療支援 現状対応可 5件
- ②在宅療養に移行する患者への医療・介護、障害福祉サービスの確保 現状対応可 6件
- ③地域医療研修の機会確保 現状対応可 5件
- ④災害時における医療提供のための計画策定 現状対応可 2件
- ⑤地域包括支援センター等との協働 現状対応可 7件
- ⑥患者の急変時の入院受入れ (入院機能を有する医療機関) 1件

## (3) 課題

- ・非常用電源の導入。
- ・老人施設スタッフへの教育・研修。
- ・連携や協力する医療機関、事業所をより広げるとともに連携を深めていきたい。
- ・訪問診療数の減少。
- ・医師確保。
- ・情報通信機器の活用。

## ■ 連携の拠点の取組について

資料 2-3

対象地域		東大阪市（中地区）		
実施主体	連携の拠点	河内医師会		
	市町村医介連携事業（委託先）	河内医師会		
（1）令和6年度の取組実績				
①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<p>①東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる地域包括支援センター多職種連携研修会全体会（2月22日） 三医師会合同災害対策会議（令和6年6月から10回開催）、三医師会小児住宅・医療的ケア児対策会議 コーディネーター運営委員会、認知症初期集中運営委員</p> <p>②東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる電話相談窓口 医療マップ（改訂）作成し9月上旬関係機関に配布、ホームページにて各医療機関情報更新</p> <p>③東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによるMSW交流会（3月13日）</p> <p>④多職種向け緩和ケア事例検討会（6月13日、10月17日）、在宅医療にかかる多職種向け講演会（11月3日） 多職種向け緩和ケアセミナー（11月21日）</p> <p>⑤医介連携にかかる市民向け講演会（9月14日）、在宅医療にかかる市民向け講演会（11月3日）、緩和ケア市民向け講座（2月15日）</p>				
（2）令和6年度の取り組みを通じた課題	<p>①災害対策として実施した安否確認訓練は、8/25の役員向けではレスポンスも良かったが、9/3会員向け分は、事前案内を2回したがレスポンス数が半数ほどであったため、実際の災害時に役立つよう準備していきたい。</p> <p>②医療マップ（改訂）は2年越しとなり思った以上に時間がかかった。意見調整の難しさを感じる。</p>			
（3）令和7年度取組計画				
①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<p>①三医師会合同災害対策会議（令和7年5月から10回開催予定） 東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる地域包括支援センター多職種連携研修会全体会（2月28日） 積極的医療機関との在宅医療体制構築連携会議（6月30日、年3回を目途に開催） コーディネーター運営委員会、認知症初期集中運営委員会適宜開催</p> <p>②24時間体制構築における課題解決のため積極的医療機関に対するアンケート実施（予定） 東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる電話相談窓口、ホームページにて医療マップの各医療機関情報更新</p> <p>③東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによるMSW交流会（未定） ICT研修会（6月19日）</p> <p>④多職種向け緩和ケア事例検討会（6月26日、10月9日） 多職種向け緩和ケアセミナー（11月27日）</p> <p>⑤医介連携にかかるACIPについての市民向け講演会（8月30日） 緩和ケア市民向け講座（1月24日）</p>				
（4）令和7年度の進捗状況	<p>①積極的医療機関との在宅医療体制構築会議は開始したばかりであるが、今後回数を重ねることによって、より良い関係作りができればと思う。次回は11月頃を予定。 従来から多職種連携研修会では会員医師、コーディネーターが積極的に関与、課題の抽出等に取り組んでおり、それを多職種連携研修会全体会にフィードバックできるように検討。</p> <p>②通常の電話相談窓口実施。積極的医療機関に対するアンケート実施予定。ホームページのリニューアルを現在検討中。</p> <p>③MSW交流会にて、病院のMSWほか、多職種も集まり、入退院時の調整等について意見交換していきたい。 ICT研修会実施、ICT連携ツールを実際に使用する研修会であったが、利用したいとの声もある反面、更に仕事量が増えるという意見もあった。</p> <p>④緩和ケア事例検討会、緩和ケアセミナー実施に向けて準備中。</p> <p>⑤医介連携市民向け講演会実施済。緩和ケア市民講座実施に向けて準備中。</p>			

## ■ 積極的医療機関の取組について (任意)

	対象地域	東大阪市 (中地区)
実施主体	連携の拠点	河内医師会
	市町村医介連携事業 (委託先)	河内医師会

### (1) 令和7年度の取組計画

他医療機関等への調整・支援等

- ・連携の拠点 (医師会) を中心とした連携会議への参加。
- ・近隣医療機関の通院患者が通院困難となった場合は訪問診療として引き継いでおり、地域で連携をとっている。
- ・他医療機関との連携。
- ・退院時カンファレンスに積極的に参加。
- ・非常用電源を活用し災害に備える。

### (2) 対応状況

積極的医療機関 6件における対応状況

- ①急変時の診療支援 現状対応可 1件
- ②在宅療養に移行する患者への医療・介護、障害福祉サービスの確保 現状対応可 4件
- ③地域医療研修の機会確保 現状対応可 2件
- ④災害時における医療提供のための計画策定 現状対応可 1件
- ⑤地域包括支援センター等との協働 現状対応可 4件
- ⑥患者の急変時の入院受入れ (入院機能を有する医療機関) 1件

### (3) 課題

- ・連携する他の医療機関との定期的な情報共有。
- ・市民への在宅医療や介護サービス等の資源の周知の場や相談場所が少ない。
- ・他医療機関との連携が難しい。
- ・24時間対応の確立。

## ■ 連携の拠点の取組について

資料 2-5

	対象地域	東大阪市（東地区）
実施主体	連携の拠点	枚岡医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	枚岡医師会

### （1）令和6年度の取組実績

①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
--------	--------------------	---------------	------------	------------

- ① 三医師会合同災害対策会議（令和6年6月から10回開催）  
 東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる地域包括支援センター多職種連携研修会全体会（2月22日）  
 三医師会小児在宅・医療的ケア児対策会議  
 積極的医療機関ならびに在宅医療コーディネーターと定期的な会議を行い情報共有を実施する。  
 （年11回 ※枚岡在宅医療介護連携推進事業運営協議会と共催）
- ② 東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる電話相談窓口  
 医療マップ（改訂）作成し9月上旬に関係機関に配布、ホームページにて各医療機関情報更新  
 小児、障がい福祉サービスにかかる在宅医療の提供体制を調査し、事業所一覧を作成した。  
 東大阪市における小児、障がい福祉サービス事業所へ訪問し実態把握を行った。（訪問先：東大阪市立はばたき園）
- ⑤ 枚岡在宅医療フォーラムにて市民への啓発を兼ね、災害時における医療情報の提供を実施した。

（2） 令和6年度の 取り組みを 通じた課題	<p>これまでの医介連携事業と、連携の拠点として実施する取組との整理に時間を要し、計画していた取組全てを実施することができなかった。医療ケア児への在宅医療の実態について観察すべきポイントや医介連携についての把握は重要であり、継続的な活動が必要である。</p> <p>また医療ケア児への在宅医療に係る研修会についても実施できなかったが、医療ケア児の在宅医療提供体制構築には必要不可欠であり活動の継続が必要。</p>
---------------------------------	--

### （3）令和7年度の取組計画

①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
--------	--------------------	---------------	------------	------------

- ① 東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる地域包括支援センター多職種連携研修会全体会（2月28日）  
 三医師会合同災害対策会議（令和7年5月から10回開催予定）  
 積極的医療機関ならびに在宅医療コーディネーターと定期的な会議を行い情報共有を実施する。  
 （年11回 ※枚岡在宅医療介護連携推進事業運営協議会と共催）
- ② 東大阪市在宅医療介護連携推進コーディネーターによる電話相談窓口、ホームページにて医療マップの各医療機関情報更新  
 小児、障がい福祉サービスにかかる在宅医療の提供体制の調査を継続実施。
- ④ 医療ケア児の在宅医療体制の現状と課題を把握し、今後の医療ケア児の在宅医療提供体制構築を図るための研修会を開催。
- ⑤ 地域住民へのACP（人生会議）講習会の開催。

（4） 令和7年度の 進捗状況	<p>② 小児、障がい福祉サービスにかかる在宅医療の提供体制の調査について、アンケートやヒアリング等で継続的に実施。</p> <p>④ 医療ケア児の在宅医療提供体制構築を図るための研修会開催に向けた準備を実施中。</p> <p>⑤ 地域住民へのACP（人生会議）講習会については10月5日に開催予定。</p>
-----------------------	--

## ■ 積極的医療機関の取組について (任意)

	対象地域	東大阪市 (東地区)
実施主体	連携の拠点	枚岡医師会
	市町村医介連携事業 (委託先)	枚岡医師会

## (1) 令和7年度の取組計画

## 他医療機関等への調整・支援等

- ・機能強化型在宅療養支援診療所として、連携医療機関の主治医が留守中、当該医療機関の在宅患者の容態変化に応じて、緊急往診可能。
- ・地域包括支援センターが主催する多職種連携研修会の企画・運営・助言を行っている。また、枚岡在宅緩和ケア研究会の企画・開催をしている。
- ・2年次初期研修医に地域医療研修の一環として、訪問診療に同行してもらっている。
- ・災害時の医療提供計画はまだ策定できていないが、独居高齢者の個別避難計画の作成については研修を重ねている。
- ・非常用電源は今後整備予定。
- ・地域包括支援センターと密に連携をとっている。
- ・訪問診療等を行っている登録医の先生方へ、緊急時のバックアップとしての役割推進。
- ・退院調整時における地域の医療従事者との退院前カンファレンスの推進。
- ・医療従事者向けにACPIに関する研修会の開催。
- ・地域で開催されている会議等へ参画し、多職種連携を強化。
- ・在宅医療・在宅介護の現場においてICTやデジタル技術を活用し、業務の効率化やサービスの質向上を目指す取り組みを行っている。

## (2) 対応状況

## 積極的医療機関 3件における対応状況

- ①急変時の診療支援 現状対応可 2件
- ②在宅療養に移行する患者への医療・介護、障害福祉サービスの確保 現状対応可 3件
- ③地域医療研修の機会確保 現状対応可 3件
- ④災害時における医療提供のための計画策定 現状対応可 1件
- ⑤地域包括支援センター等との協働 現状対応可 3件
- ⑥患者の急変時の入院受入れ (入院機能を有する医療機関) 1件

## (3) 課題

- ・訪問診療医とクリニック間の電子カルテ共有はサイバー攻撃リスクと多職種連携の課題を抱えている。医療現場におけるDXを進める上で大きな課題となっている。
- ・サイバーセキュリティに関しては、常に新しい脅威が出現するため、より専門的な知識と継続的な情報収集と対策の見直しが不可欠な状態である。
- ・BCPを他の医療機関と共有して連携すること。
- ・機能強化型在宅療養支援診療所としての取組を行っているが、積極的医療機関としての具体的な活動が明確化されていないと感じる。他の積極的医療機関の活動内容などを共有したい。

## ■ 連携の拠点の取組について

資料 2-7

	対象地域	八尾市
実施主体	連携の拠点	八尾市医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	八尾市

### （1）令和6年度の取組実績

①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
①連携の拠点会議(7回)、八尾市在宅医療推進ネットワーク会議(4回)、保健所等との打ち合わせ(16回) ②・③なし ④第8次医療計画に関する対面講演(2回) ⑤なし				

（2） 令和6年度の取り組みを通じた課題	<p>診診連携・病診連携等における情報共有の一助として、令和6年度事業において医療資源MAPを作成・配付した。連携先の情報にはアクセスしやすくなったが、現状では連携ツールが医療機関ごとに異なるため、診診連携・病診連携が円滑に進まない要因となっている。連携方法の円滑化が課題であり、課題解決に向けて統一した連携ツール（ICT化）の検討が必要。</p>
-------------------------	--

### （3）令和7年度の取組計画

①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
①連携の拠点会議(12回)、八尾市在宅医療推進ネットワーク会議(4回)、保健所等との打ち合わせ(15回) ②・③積極的医療機関との個別面談(6回)、連携ツール導入Web講義(10回)、第8次医療計画に関するWeb講演(10回)、対面講演(2回) ④連携ツール導入対面講義(10回) ⑤なし				

（4） 令和7年度の進捗状況	<p>①前年度の課題を踏まえ、連携ツール導入に向けて検討している。基本コンセプトとしては、『可能な限り多くの医療機関が参画しやすいように留意』、『各医療機関において日々の業務負担が大きくなるよう留意』、『情報漏えい等のリスクを鑑み、実用的に使用できることを重視』、『連携ツールの選定がゴールにならないよう留意』の4点とする。</p> <p>②③積極的医療機関ごとの課題共有・対策検討と並行して、連携ツール導入に向けた説明会企画を進めている。また、連携体制構築の観点から、第8次医療計画ならびに拠点の取り組みの認知度向上を目的に講演を企画している。</p> <p>④Web説明会に参加できない医療機関向けに、対面での説明会も準備している。</p>
-------------------	--

## ■ 積極的医療機関の取組について (任意)

対象地域	八尾市	
実施主体	連携の拠点	八尾市医師会
	市町村医介連携事業 (委託先)	八尾市

(1) 令和7年度の取組計画	
他医療機関等への調整・支援等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 積極的医療機関数：3機関から6機関に増加。</li> <li>■ 八尾市在宅医療推進ネットワーク会議に参加。</li> <li>■ 在宅療養中患者の急変時、受入を行う体制を整備、対応の強化。</li> <li>■ 療養に必要な医療及び介護、障害福祉サービスや家族等の負担軽減につながるサービスを適切に紹介。</li> <li>■ 自院で購入した非常用電源について、周辺診療所の患者への貸出も含めた運用ルールを検討 (今年度中) (運用ルールについては、拠点に情報共有)</li> <li>■ 他医療機関に対するBCP策定支援 (今年度中)</li> <li>■ 患者の急変時に受入れを積極的に実施・対応の強化。また、受入体制を整備中。</li> <li>■ 病院研修医の近隣医療機関の往診同行。</li> <li>■ まずは自院の患者より、訪問診療を開始予定である。</li> <li>■ 在宅療養に移行する患者への医療・介護、障害福祉サービスの確保について、関係機関に働きかける。</li> <li>■ 在宅医療を提供している近隣医療機関と連携。</li> <li>■ 入院治療終了後の在宅復帰に向けたバックアップ体制の構築 (医療介護連携)</li> <li>■ 在宅療養中患者 (特に高齢者) の生活的支援の検討。</li> <li>■ 地域、積極的医療機関を含むグループ診療体制についてのグループワークにアイデアマンとして参加予定。</li> <li>■ 重症心身障がい児の母体病院との連絡網の検討・情報共有。</li> <li>■ 他医療機関と連携のためのDX化。</li> </ul>
(2) 進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 連携の拠点と積極的医療機関による八尾市在宅医療推進ネットワーク会議に参加し現状や課題などについて意見交換を行った。</li> <li>■ 救急受入体制を整えている。</li> <li>■ 自院で購入 (補助事業活用) 予定の非常用電源について、運用ルールを検討中。 今後、近隣診療所へ周知予定。</li> <li>■ 近隣クリニックとのBCP策定検討会を予定。 その中で、積極的医療機関に整備予定の非常用電源の借り入れについても予定。</li> <li>■ 救急受入体制の更なる充実。</li> <li>■ 災害時の医療救護活動への積極的な取り組み意向。</li> <li>■ 近隣の在宅支援診療所と小グループを形成しモデルケース作りをしている。</li> <li>■ 受入れ体制を見直し中である。</li> <li>■ 往診体制を整備中である。</li> <li>■ 二次救急指定医療機関ではないが、連携医療機関や連携介護施設からの急変時患者受入体制を整えている。</li> <li>■ 連携医療機関と定例会議を行い患者の情報共有している。</li> <li>■ さらなる連携先の拡充を検討。</li> <li>■ 在宅療養中の患者および家族が相談しやすい環境の検討。</li> <li>■ 地域、積極的医療機関を含むグループ診療体制についてのグループワークは1月予定。</li> <li>■ 他医療機関と連携のためのDX化は運用ルールを構築。その後近隣医療機関と連携予定。</li> </ul>
(3) 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域包括ケアシステムで、在宅医療にかかる連携(訪問看護等)にかかる連携が課題。</li> <li>■ 近隣の在宅支援診療所と小グループで在宅連携マニュアル作りに向け課題抽出。</li> <li>■ 地域包括ケアシステムの在宅医療提供体制構築のため、訪問看護、訪問薬剤、訪問歯科とどのように連携を行っているのかを検討。</li> <li>■ 在宅医療については今年度から始めた新たな取り組みであるため、課題はこれからと考える。</li> <li>■ 自院のBCPについて追加・修正等を行っており、また訓練等についても不十分であると感じているため、他の医療機関等のBCP策定等の支援についての対応が困難である。</li> <li>■ 患者・家族の相談環境構築のための人材確保と場所の確保。</li> <li>■ 連携医療機関の拡充についても医師・看護師等の人材確保。</li> </ul>

※ 上記の内容は八尾市域の積極的医療機関の取り組みを集約したものであり、各医療機関がすべての項目を実施しているものではありません。

## ■ 連携の拠点の取組について

資料 2-9

対象地域		柏原市		
実施主体	連携の拠点	一社) 柏原市医師会、市立柏原病院		
	市町村医介連携事業 (委託先)	柏原市役所高齢介護課 (市立柏原病院)		
(1) 令和6年度の取組実績				
①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<p>① 医療・介護ネットワーク「いかしてネットかしわら」検討会 (6月、12月)、柏原市看看連携会議(年4回)</p> <p>②-1 柏原市医師会学術講演会(10月、2月)、柏原市障害者自立支援協議会子ども部会(9月、2月) 藤井寺保健所管内難病児者 地域支援ネットワーク推進会議(2月)への参画</p> <p>②-2 「柏原市在宅医療・介護連携マップ」と「介護保険サービス事業者一覧」の情報提供、ICTを活用した情報提供</p> <p>④ 地域医療連携研修会(7月、9月、10月、11月、12月、1月)、令和6年度「いかしてネットかしわら」研修会(12月)</p> <p>⑤ 市民公開講座 (6月)、出前講座 (年11回)</p>				
(2) 令和6年度の取り組みを通じた課題	<p>① 医療・介護ネットワーク検討会において、現在は高齢者に関することが中心だが、将来的には小児を含めた地域支援体制のネットワーク構築等、小児の在宅医療分野の取組について検討が必要。</p> <p>②-1 ICTの活用について、個人情報の取り扱いに関する課題があり、患者に関する情報共有の活用は進んでいない。円滑に運用するためには、活用方法や情報管理について検討が必要。</p> <p>②-2 地域に訪問診療医など社会資源が少ない。</p>			
(3) 令和7年度の取組計画				
①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<p>① 医療・介護ネットワーク「いかしてネットかしわら」検討会 (年2回)、柏原市看看連携会議(年4回)</p> <p>②-1 柏原市医師会学術講演会(11月、2月)、柏原市障害者自立支援協議会子ども部会(9月、2月)、藤井寺保健所管内難病児者 地域支援ネットワーク推進会議(2月)への参画</p> <p>②-2 「柏原市在宅医療・介護連携マップ」と「介護保険サービス事業者一覧」の情報提供、ICTを活用した情報提供</p> <p>④-1 地域医療連携研修会(6月、7月、9月、10月、11月、12月)、令和7年度「いかしてネットかしわら」研修会(11月)</p> <p>④-2 介護支援専門員を対象とした研修会及びケースカンファレンス (10月)</p> <p>④-3 地域の医療機関を対象とした講演会を開催 (11月)</p> <p>⑤-1 市民公開講座 (5月)、「まちの保健室」(年10回)、出前講座 (年4回)</p> <p>②-3 ④-4 ⑤-2 がん診療拠点病院における連携会議 (年10回)、関係機関への研修会 (年2回)、市民向けに普及啓発 (年6回)を実施予定。</p>				
(4) 令和7年度の進捗状況	<p>① 顔の見える関係づくりや医療・介護の情報を共有し、連携がスムーズに進む方策を協議している。</p> <p>②-1 市内の医師、看護師等の医療従事者が、在宅医療・介護に係る知識・技術の習得や情報共有のため、関係機関との連絡調整を行っている。医療的ケア児の地域の支援体制構築をめざし、関係会議に参画。</p> <p>②-2 市内医療機関に対し、診療科目等の調査とともに、介護サービス等の最新情報を確認、毎年更新実施。</p> <p>④-1 在宅医療に係る医療・介護従事者等に必要な知識・技術の習得と情報共有のため、医介連携に関するテーマで研修会を実施予定。「いかしてネットかしわら」検討会関係者対象の研修会を11月に実施予定。</p> <p>④-2 中河内ブロックの介護支援専門員を対象とし、在宅における介護等について研修会及びケースカンファレンスを10月3日実施予定。</p> <p>④-3 連携の拠点である医師会と市立柏原病院が合同で女性生涯医学についての講演会を地域の医療機関向けに11月22日実施予定</p> <p>⑤-1 市立柏原病院主催で、在宅医療に係る専門職等を対象に市民公開講座を実施。また、市民向けに「まちの保健室」とし医療、介護等についての普及啓発を実施予定。専門職による出前講座も実施予定。</p> <p>②-3 ④-4 ⑤-2 がん診療拠点病院である市立柏原病院が、連携における会議を実施 (年10回) 予定。また、ACP等をテーマに多職種連携研修会 (年2回)、サロンなどで市民啓発 (年6回)を実施予定。</p>			